



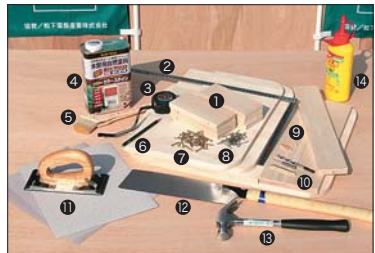
雑誌や新聞のほか、 お花を飾ったりできる おしゃれなラックです

マルチに使える 「マガジンラック」 を作ろう

今日の新聞、読みかけの雑誌…。床やテーブルの上に散らかって困ることはありませんか？マガジンラックだけど、それ以外の用途にも使えるラックを作ってみましょう。電動工具があれば、組み立てはカンタン。制作の指導は、DIYホームセンターきたやま鹿屋寿店。電動工具協力は、松下電器産業の「マイジョイ」シリーズです。



【電動工具】①充電パワーカッター
②充電ドリルドライバー
③充電インパクトドライバー



【木材・用具】①木材(ファルカタ集成材) ②カネジャク
③メジャー ④木部用カラスティン ⑤ハケ ⑥鉛筆 ⑦木ネジ(25mm)
⑧ステンレススキ(2.5mm) ⑨木製グボ(直径10mm・長さ45mm)
⑩ドライバービット(プラス・下穴あけ用・木工用)
⑪サンドペーパー ⑫ノコギリ ⑬カナツチ ⑭木工ボンド

ホームセンターで、
こんな材料を用意しましょう



マガジンラックとしても、花を飾ったりしても…。マルチに使える「マガジンラック」は、おしゃれなインテリアに。(作り方は次ページ)

マルチに使える
「マガジンラック」

電動工具を使って組み立てると、アツという間にできあがり！

DIY得意のご主人と、手作り大好きな奥さまの二人三脚でトライ！ マルチに使える「マガジンラック」作り

段々式のマガジンラックは、3つのボックスを最初にして、最後に合体すればできあがり！

今回、パコマDIY教室に参加した坂元さんご夫妻は、ご主人の敏さんがDIYの大ベテランで、何でも自分で作ってしまえる達人の域。奥さまの真知子さんも、手作り好きで、自分たちの趣味にぴったりと喜んで参加してくださいました。ご主人の敏さんは、日頃から電動工具を使い慣れていますが、リニューアールした最新モデルの「マイジョイ」シリーズを見て、「このタイプはまだ使ったことがないので楽しみです」と初めて使った様子。



パワーカッターを初めて使う真知子さんも、すぐにマスターして「軽いのにパワーが強い！」と驚き！



DIYアドバイザーの郡山さんから、組み立ての手順などを聞いて作業スタート。

最初に、DIYアドバイザーの郡山さんから、作り方と組み立ての手順の説明を聞き、さっそく木材のカットから作業はスタート。今回の木材は、外材の「ファルカタ集成材」という軽くて扱いやすい素材です。木を直線カットするためのパワーカッターを使ってカットしますが、使い慣れている敏さんにも、「このパワーカッターは軽いですね」と、そのコンパクトさと扱いやすさに驚きの表情が。パワーカッターは初めて使う真知子さんでしたが、一度で使い方をマスター。「木の軽さと柔らかさにびっくり。このパワーカッターなら女性にもスイスイ切れますね」と、すっかりお気に入りです。

組み立ては、ドリルドライバーとインパクトドライバーをメインに使用して、穴あけ、ネジ締めもラクラク！

木のカットは、直線部はパワーカッターを使って、曲線部は、ホームセンターでジグソーでやってもらい、アツという間に終了です。組み立ての手順は、3段階の階段式ラックを、3つのパートに分けて作り、最後に合体させるやり方です。ドリルドライバーでのダボ用木工穴あけ、木ネジの下穴あけを最

初にやります。下穴をあけておけば、木ネジがラクに打ち込めて、板が割れる心配もありません。今回の組み立てのポイントには、3つのパートを背板部分でつなぐと

るを、強度を増すためにダボをつなぐところ。そのダボ穴をあけるため木工用ビットをつけたドリルドライバーが活躍します。「ドリルドライバーなら、こんな大きな穴をあけるのも一瞬ですね」と真知子さん。下穴あけや木ネジを打ち込む作業に、ドリルドライバー、インパクトドライバーをスイスイ使いこなしていく敏さんも、「電動工具でマイジョイを使ったのは初めてですが、ほんとに軽いですね。電動工具は重いのが当た



●アドバイスホームセンターきたやま鹿屋寿店 (左から)パイヤー/津之地さん、DIYアドバイザー/郡山さん

●パコマ読者スタッフ 坂元 敏さん・真知子さんご夫妻(鹿児島市)

用の下穴あけを最



ドリルドライバーは使い慣れた手つきで作業もスピードアップ。



5 後側の箱と、中央部の箱を、背板部分で木工ボンドをつけてからダボを通し、合体させる。



8 前側の箱に前板をとりつける。



9 最後に、サンドペーパーで曲線部や木の角をなめらかに磨く。



6 前側の箱に、背板、側板をとりつける。



7 中央部の箱と前側の箱を木工ボンドとダボでつなぎ、背板部分で合体させる。



1 木材に図面どおりにスミ入れして、直線部はパワーカッターで、曲線部はジグソーでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります。)

2 背板の裏側から、下穴をあけた位置にインパクトドライバー(プラスチック)で木ネジ(25mm)を打ち側板をとりつける。



3 側板と底板をカナヅチを使い、ステンレスギデとめる。(左右の側板は同じ作業)



4 底板と背板を木ネジでとめる。



4 中央部の箱も同じ要領で組み立てる。



2 中箱の背板部をダボでとめる位置に、木工ビットでダボ穴をあけておく。



3 いちばん後側の背板に、底板と側板をとりつけ、後側の箱を作る。

① 背板の下から20cmの位置をはかりスミ入れする。左右に側板を取り付けるための下穴を、ドリルドライバーの下穴あけ用ビットであける。



インパクトドライバーは「コンパクトで軽いのにパワーはしっかりありますね」と感心。

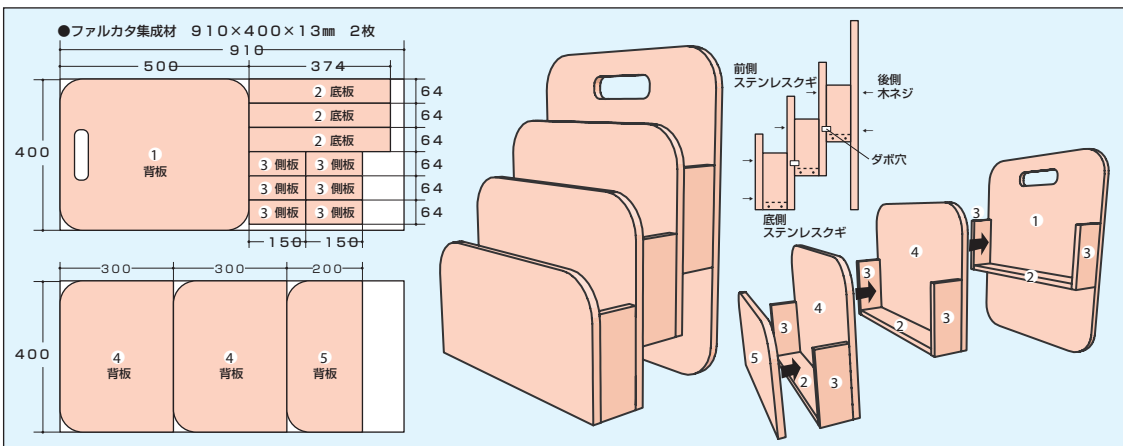


ご夫妻の協力体制は息ぴったり！作業も予定以上に速く進行。

り前、というイメージがあったんですが、重量も使い勝手もこんなに軽く扱いきやすいのはビックリです。これなら女性の方にも使いやすいでしょうねと、マイジョイに一目惚れ。ご夫妻の力を合わせた共同作業で、組み立てもどんどん進んでいきます。敏さんのベテランぶりです、思った

より早く仕上がった組み立て作業に、アドバイザーの郡山さんも驚きの表情。この調子で坂元一家には、手作りの作品がたくさん生まれたいくのでしよう。協力し合うご夫妻の顔も、終始いきいきとして楽しそうでした。

*木工用ラーステインなど好みのカラーにペイントする。



さあ、これを磨いたらできあがり！「ふたりでやったら、やっぱり早いですね。」